

エネルギー・環境情報センターの現状と 今後の活動方針

大平 裕*

1. はじめに

持続可能な社会の構築に向けて、日常生活や事業活動の基盤となるエネルギーの利用・供給と環境保全のあり方について、総合的な観点から考え、実践的な取り組みを推進するためには、行政や事業者等がそれぞれの役割を果たすと共に、国民一人ひとりのエネルギー・環境問題に対する関心の喚起と理解の促進が不可欠と思われまます。

継続的な取り組みの重要性を考えた場合、次世代層がエネルギー・環境に関する課題や問題点を自分自身のこととして考え、適切な意思決定と行動を行うための素地を養う意義は極めて大きいと考えます。

普及啓発部のエネルギー・環境情報センターは、以上の認識に立ち、次の活動を行いました。

リニューアルされた福岡市保健環境学習室「まもる〜む福岡」の運営を通じて、「循環型社会の構築・地球温暖化対策を考えたまちづくり・自然とのふれあいと生物多様性の保全」をテーマに、多くの学習イベントを開催し、福岡市民や福岡市を訪れた国内外の方々に保健や環境に関する体験や情報提供を行いました。

小学生とその保護者を対象とした活動として、子どもゆめ基金助成を受けた「科学実験出前講座福岡」、九州エネルギー館の「おもしろサイエンス」及び環境フェスティバルふくおかの九州電力ブース等を運営しました。

「九電みらいの学校」の一環として、九州電力熊本支社が主催する中学校を対象した科学実験出前講座を、九州大学名誉教授などとともに実施しました。

九州大学福岡演習林における小中学校教員を対象とした夏期森林体験講習会の支援や熊本県立大学における放射線測定実験への指導員派遣などを行いました。

福岡県環境部環境保全課から「福岡県省エネルギー相談事業」の委託を受け、エネルギー管理士などの専門家とともに、福岡県内の中小企業を主な対象とした省エネの運用改善や設備更新などのアドバイスを実施しました。

福津市の市民有志「どじょう倶楽部」及び福岡県宗像遠賀保健環境事務所・同保健環境研究所・同自然環境課並びに株式会社伊藤園等と連携した福津市手光地区の遊休水田を利用したビオトープづくりなどの省エネルギーから生物多様性の保全まで幅広い活動を行っています。

2. 福岡県省エネルギー相談事業について

平成24年度は、県内75事業者を対象に省エネ相談を実施しました。

省エネルギー相談は、相談窓口の設置と相談の受付及び現地相談で構成しました。

対象は、現有施設の運用改善や省エネ型設備への更新等を検討している福岡県内の事業所で規模や業種は原則不問とし、相談料金は無料としました。

相談のメリットは、1) 経費削減と危機管理に役立つ、2) 地球温暖化防止に貢献できる、3) 社員教育に活用できる、4) 助成・支援制度の情報が得られる、の4点です。

なお、窓口寄せられた省エネルギーに関する一

*一般財団法人 九州環境管理協会 普及啓発部

一般的な問合せや補助制度等の照会等に対しては、関係機関の紹介や関連制度の情報提供等を行いました。

相談者が、具体的な相談を希望された場合は、相談内容や年間電力使用量（料金）等を記載した相談申込書を送付いただきました。

相談申込書その他情報を基に相談内容を分析し、エネルギーに関し高度な知識及び技術を有する専門家（以下「専門家」という。）による実地での調査・相談（以下「現地相談」という。）の可否を判断し、現地相談の必要があると判断した場合は、専門家を相談者の事業所等の現地に派遣しました。

現地相談では、相談内容等を詳しくヒアリングするとともに、現有設備の種類及び運転状況等を確認の上、省エネルギーに資する運用改善や設備更新に係るポイント及び対策手法等の要点を口頭で情報提供しました。

現地相談を行った場合は、次の事項を記載した回答書を作成しました。

- ①現有設備の概要（設置、管理及び運転状況等）
- ②エネルギーの使用状況及びその分析
- ③設備運用及びエネルギー使用状況に係る問題点及び改善の着眼点
- ④省エネルギーに資する現有設備の運用改善方策
- ⑤設備投資（設備の更新又は導入等）を伴う省エネルギー方策
- ⑥運用改善又は設備投資により見込まれる経費、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減効果
- ⑦運用改善及び設備投資等に活用できる支援又は補助制度の情報

現地相談の回答で、専門家が多くアドバイスされた設備は、電力のデマンドコントローラーでした。デマンドコントローラーは、電力使用の「見える化」を行う機器の1つで、予め設定した電力使用値を越えることが予測された場合に警報を出すものやエアコン等の電力使用機器を自動制御するものもあります。



写真1 現地相談の事例（温浴用給湯設備）



写真2 デマンドコントローラーの事例

3. 省エネルギー相談の効果

相談事業の効果は、アンケート調査によって確認しました。

平成22年度と平成23年度に現地相談を受けた17社の事業者を対象に、その後の取組や相談事業による効果及び改善提案等のアンケートを行ない、14社から回答をいただきました。

結果は、1) 窓口対応、2) 相談時間、3) 専門家によるアドバイス、4) 回答書の満足度、5) 回答書の難易度、6) 省エネ相談の有効性については、「良い」や「適切」及び「満足」等の結果が多かった。

省エネ相談の再度の申込は、数年後には申込みたいが最も多かった。

省エネ相談後の取組は、運用改善の実施が半数で、設備更新を行った事業者も4社であった。

省エネ相談による効果は、電力使用量の削減が最も多く、次いで重油等の使用量削減でした。

4. 今後の方針

九州環境管理協会では、学校や家庭及び事業者などの幅広い層を対象とした温暖化対策、エネルギー問題などの公益性の高い普及啓発活動を展開しております。

次年度は、時代の要請に応じた新規事業を開拓するとともに、豊かな環境の保全と創造をとおして、地域及び社会の持続的な発展に寄与してまいります。



アユ

香魚とも呼ばれ独特の香りがする。
アユの友釣りは夏の風物詩。